



TITLE:

龍の歳

AUTHOR(S):

CITATION:

龍の歳. 天界 1940, 20(227): 150-150

ISSUE DATE:

1940-02-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167953>

RIGHT:

東へ、皆既線は通過する。この皆既線の少しく南にはケープ天文臺があり、又此の線の北側にはブルームフオンタイン、ジョハネスバーク、プレトリア等の都市があつて、皆それぞれ天文臺があるのであるが、何れも、惜しいことに、皆既線から外れてゐるから、観測のために、わざわざ數百キロの旅行をしなければならないことは、公平な天の配割である。しかし、此のあたりは、東西にも、南北にも、鐵道や自動車路や、海上の航路も、皆發達してゐるから、旅行や、器械の運搬については、南米のブラジルよりも便利であらう。

“龍 の 歳”

春はまづ日本帝國に明けて、待望の二千六百年の元朝となつた。▲神武天皇御即位の日は今では二月11日となつてゐるが、當時の曆によれば辛酉年正月庚辰朔となつてゐて、まさに一月元旦である。朔の名よりすれば今日元旦が御即位の日ともいはれる。その日は庚辰で、今年の庚辰と奇しくも符合するはいよいよめでたい。▲辰の年とあつて、これを龍と解して、いろいろ縁起を祝ふが、元來辰は支那では「季節を定めるために観測する標準の星」といふ意味で、日月星辰の辰だ。▲殷の時代、仲夏、王五月の節を正す目標となつたのは蝎座の一等星“大火”であつたので、遂に大火が辰の名を獨占した。秀吉が大閤を、光圀が黃門を獨占したやうなものだ。▲この辰を龍の義にとつたのは、故新城博士によると、大火附近の星象が一種の動物を假想せしめるものがあつて、これに龍と名づけたのである。▲十一月の目標なるオリオン附近の星象が斧鉞の形に見えるので、鉞と同義の戌をもつて、これに名づけ、さらに十一月は狩獵月であるからといふので、犬を聯想し、戌を犬としたのと似てゐる。▲十二支を動物に見たてるのは お伽噺と見れば面白いが、實はたはいいもないものである。▲所で問題の龍だが、之はもとより蛇でもない、鰐でもない。「角は鹿に、頭は駝に、眼は鬼に、體は蛇に、腹は蜃に、鱗は魚に、爪は鷹に、掌は虎に、耳は牛に」似たものだ。▲説文には『龍は鱗虫の長にして、能く出、能く明、能く細、能く巨、能く知、能く長、春分にして天に登り秋分にして淵に潛む』とある。▲何れにしても、想像を絶したもので、本來天界に屬するものらしい。▲随つて、神聖なものとせられ、九五の位に関する言葉となる。▲更に注意すべきは、龍の頸には大きな寶珠のあることだ。▲今年をもつて龍に配するとすれば、東亞新秩序の建設はそれ龍の頸の寶珠か。▲何れにせよ二千六百年を祝福する今年を、さらに後世をして記念せしめれば、龍の年の名によさはしい。(元旦の大毎紙より)